

●図書館

1. 施設概要

図書館は、図書、記録その他必要な資料を収集、整理保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクレーション等に資することを目的とした施設です。

図書資料等の貸出・返却、整理、映写会等の主催事業を開催しています。

(1) 施設一覧

図書館は市内に図書館1館と2分室、1図書室があります。2分室のうち、東分室は東センター内、緑分室は緑センター内に設置しており、2分室共に公民館分館と併設しています。前原町西之台会館図書室は集会施設（前原町西之台会館）内に設置しています。

また、以上の施設以外に図書館から距離の離れた地域に対応するため、市内を移動図書館車が巡回しています。

平成26年度に「(仮称)貫井北町地域センター」(図書館占有面積約700.0㎡、蔵書5.5万点程度)が開館する予定です。

表 施設一覧(平成22年度)

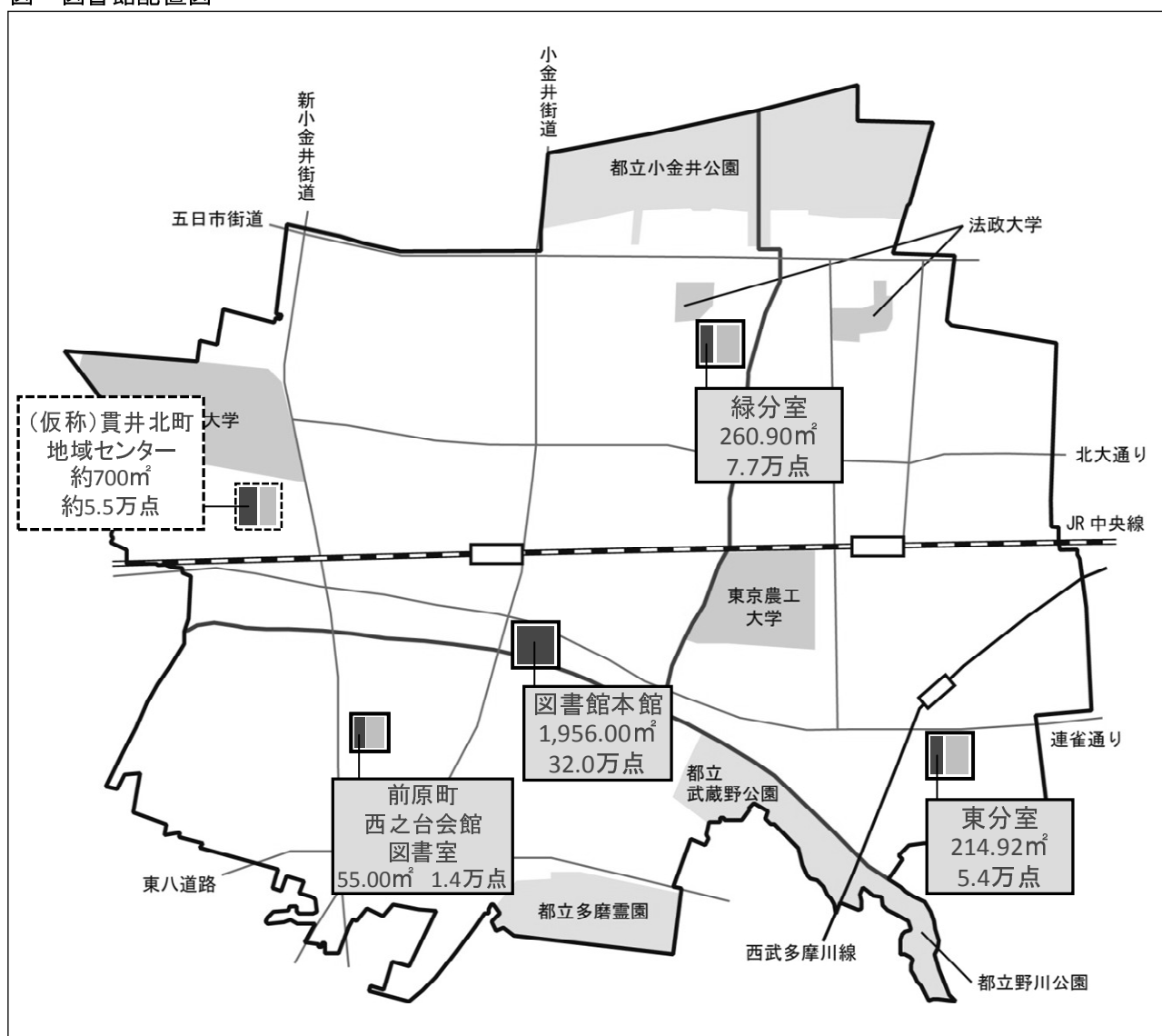
種別	名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	併設施設		備考
					公民館	集会施設	
本館	1 図書館本館	本町1-1-32	1,956.00	昭和50			別館(121.65㎡)を含む
分室	1 図書館東分室	東町1-39-1	214.92	昭和63	●	●	都営住宅2階部分
	2 図書館緑分室	緑町3-3-23	260.90	平成2	●		
図書室	3 前原町西之台会館 図書室	前原町3-8-1	55.00	昭和61		●	都営アパート内 1階借用
移動 図書	移動図書館	—	—	—	—	—	
合 計			2,486.82	—			
分室	— (仮称)貫井北町 地域センター	貫井北町1-587-10	図書館専用 700.00	平成26 開館予定	●	—	

(2) 開館時間、休館日、運営日数

施設名	開館時間	休館日	運営日数 (平成22年度)
図書館本館	午前10時～午後5時 (水・木・金は1階のみ20時まで)	月曜日、蔵書点検日 年末年始等	284
図書館東分室	午前10時～午後5時	火曜日、祝日 蔵書点検日 年末年始等	278
図書館緑分室	午前10時～午後5時	火曜日、祝日 蔵書点検日 年末年始等	278
前原町西之台会館 図書室	午後1時～午後5時(月・火・木・金) 午前10時～午後5時(土・日) ※土日は午前12～午後1時は休館	水曜日、祝日 蔵書点検日 前原町西之台開館休館日 年末年始等	275
移動図書館	市内7か所に平日(火・水・木・金)にお伺いしています。		183

(3) 施設配置

図 図書館配置図



※(仮称)貫井北町地域センターは平成26年度開館予定です。

(4) 蔵書数

平成22年度の図書館の総蔵書数は47万4,075点です。内訳をみると、一般書が29万3,466点で市全体の約62%を占めています。児童書が14万3,675点(約30%)、視聴覚資料は図書館本館、東分室、緑分室のみに置いてあり、1万5,778点(約3%)となっています。

施設別にみると、図書館本館が32万151点で市全体の約68%を占めています。東分室が5万4,069点(11%)、緑分室が7万6,746点(16%)、前原町西之台会館図書室が1万4,395点(3%)となっています。

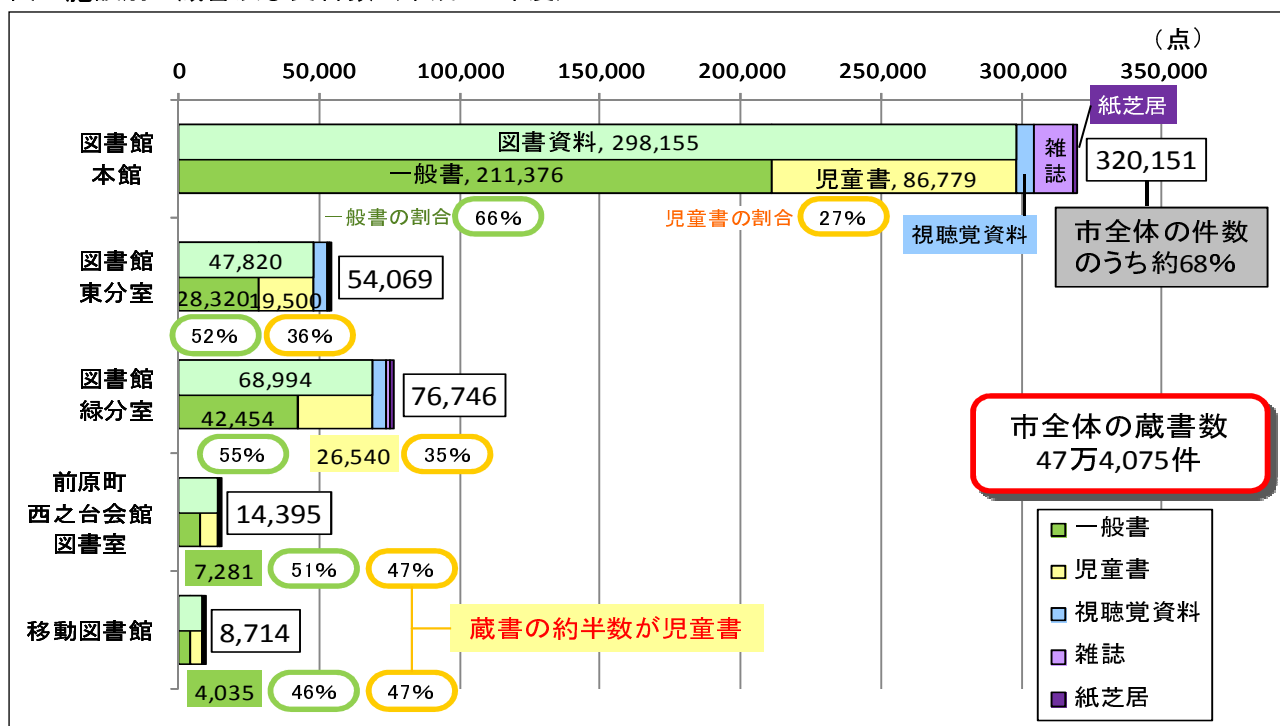
図書館本館は66%が一般書(児童書は27%)である一方、前原町西之台会館図書室、移動図書館は約半数が児童書となっています。

表 施設別の蔵書及び資料数(平成22年度)

(点)

	図書館本館	図書館東分室	図書館緑分室	前原町西之台会館図書室	移動図書館	合計	構成比
一般書	211,376	28,320	42,454	7,281	4,035	293,466	62%
児童書	86,779	19,500	26,540	6,734	4,122	143,675	30%
視聴覚資料	6,064	4,704	5,010	0	0	15,778	3%
雑誌	14,022	1,074	1,417	187	454	17,154	4%
紙芝居	1,910	471	1,325	193	103	4,002	1%
合計	320,151	54,069	76,746	14,395	8,714	474,075	-

図 施設別の蔵書及び資料数(平成22年度)



(5) スペース構成

図書館本館の規模は 1,956.0 m²で、そのうち別館部分が 121.7 m²あります。東分室は 214.9 m²、緑分室は 260.9 m²と同程度の規模です。前原町西之台会館図書室は 55.0 m²です。

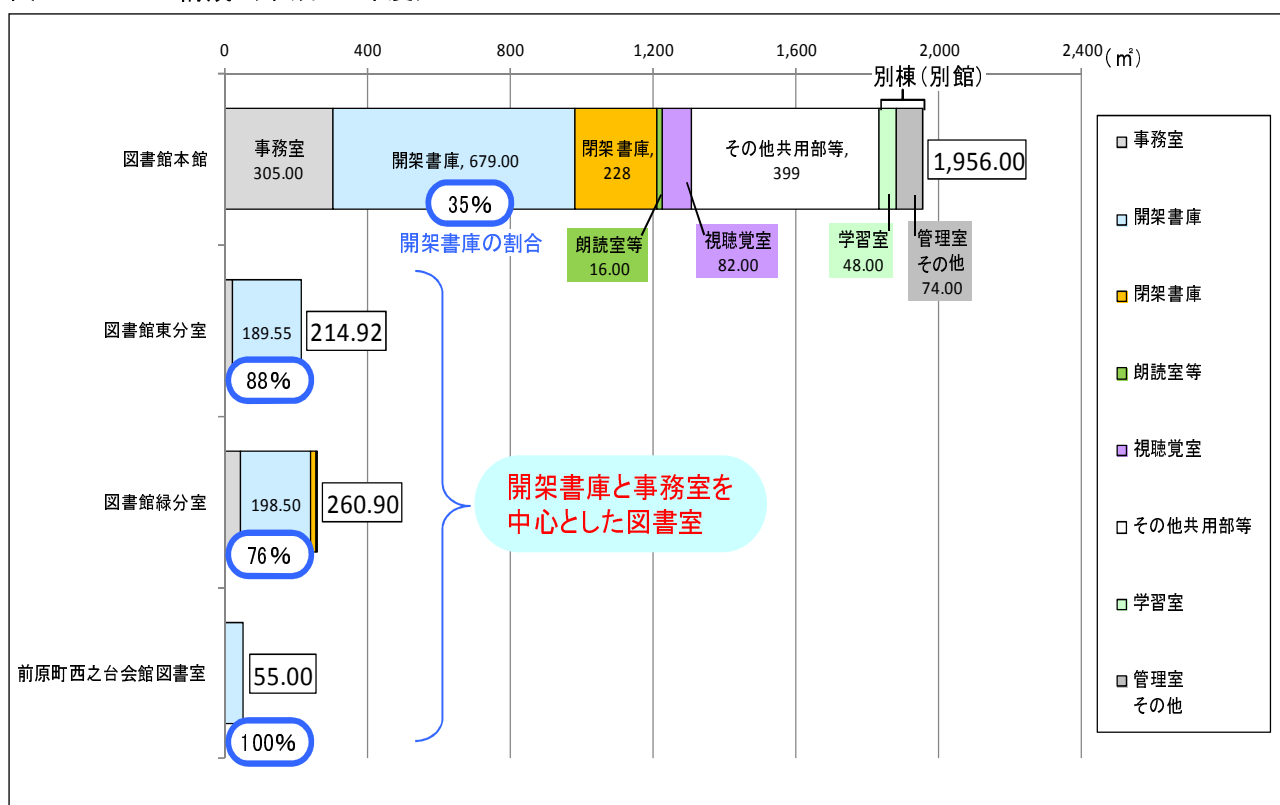
東分室は開架書庫が 189.6 m²と延床面積の約 88%を占めています。同様に緑分室は 198.5 m²、約 76%、前原町西之台会館図書室は 55.0 m²、100%となっており、開架書庫を中心とした図書室であることが分かります。

図書館本館には、閉架書庫や朗読室、視聴覚室などがあります。また、隣接している別館には個人又は社会教育団体が学習をするための学習室があり、開架書庫以外にも多くの利用スペースがあることが分かります。

表 スペース構成 (平成 22 年度) (m²)

	開架書庫	閉架書庫	朗読室等	視聴覚室	学習室 (別館)	管理室 その他	事務室	その他共用 部等	合計
図書館本館	679.00	228.00	16.00	82.00	48.00	74.00	305.00	524.00	1,956.00
図書館東分室	189.55	—	—	—	—	—	25.37	—	214.92
図書館緑分室	198.50	12.00	—	—	—	—	45.60	4.80	260.90
前原町西之台会館図書室	55.00	—	—	—	—	—	—	—	55.00

図 スペース構成 (平成 22 年度)



2. 実態把握

(1) 建物状況

図書館機能を設置している5施設のうち、耐震安全性が確保されていない施設は図書館本館の1施設です。市全体の計画では平成27年度までに耐震安全性を確保する計画ですが、図書館本館は老朽化しており、今後、図書館本館の建替え又は延命措置も含めた大規模改修と耐震補強等の老朽化対策の検討が必要となります。また、整備時にはバリアフリー対応や省エネ・断熱化等の環境対応も検討する必要があります。

東分室は築20年以上を経過しており、今後、大規模改修等の検討が必要になってきています。

他の3施設については、今後、一部バリアフリー化や環境対策と併せて、市民ニーズに適した整備が必要となっています。

図 建物総合評価結果

評価	パターン①	パターン③	パターン④																
	耐震性 老朽化	今後 老朽化	バリアフリー・環境対応																
	<ul style="list-style-type: none"> 耐震安全性が確保されていない。 さらに、老朽化が進行している。 ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進行している。 ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリー又は環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設 																
該当施設	<table border="0"> <tr> <td>当該施設</td> <td>建築年</td> </tr> <tr> <td>図書館本館</td> <td>昭和50</td> </tr> </table> <p>< 1 施設 ></p>	当該施設	建築年	図書館本館	昭和50	<table border="0"> <tr> <td>当該施設</td> <td>建築年</td> </tr> <tr> <td>図書館東分室</td> <td>昭和63</td> </tr> </table> <p>< 1 施設 ></p>	当該施設	建築年	図書館東分室	昭和63	<table border="0"> <tr> <td>当該施設</td> <td>建築年</td> </tr> <tr> <td>図書館本館（別館）</td> <td>平成19</td> </tr> <tr> <td>図書館緑分室</td> <td>平成2</td> </tr> <tr> <td>前原町西之台図書館</td> <td>昭和61</td> </tr> </table> <p>< 3 施設 ></p>	当該施設	建築年	図書館本館（別館）	平成19	図書館緑分室	平成2	前原町西之台図書館	昭和61
当該施設	建築年																		
図書館本館	昭和50																		
当該施設	建築年																		
図書館東分室	昭和63																		
当該施設	建築年																		
図書館本館（別館）	平成19																		
図書館緑分室	平成2																		
前原町西之台図書館	昭和61																		
コメント	<ul style="list-style-type: none"> 旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、耐震化と老朽化対策が必要です。 市全体として平成27年度までに耐震安全性を確保する計画です。 	<ul style="list-style-type: none"> 新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的新しい施設や一度大規模改修を行った施設です。 バリアフリー又は環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。 																

(2) 利用状況

① 全体の利用状況

図書館の利用状況を「貸出者数・貸出件数」「リクエスト件数」「レファレンス（相談）件数」「主催事業の参加者数」の観点で把握します。

平成 22 年度の市全体の貸出件数は 83 万 9,059 件で、1 日当たりの平均をみると、本館は 1,694 件、分室等は 124 件（移動図書館）から 750 件（図書館緑分室）となっています。年間の利用者数は市全体で 20 万 9,390 人、市民 1 人当たり 1 年間に平均 1.9 回程度、図書資料等を借りていることとなります。

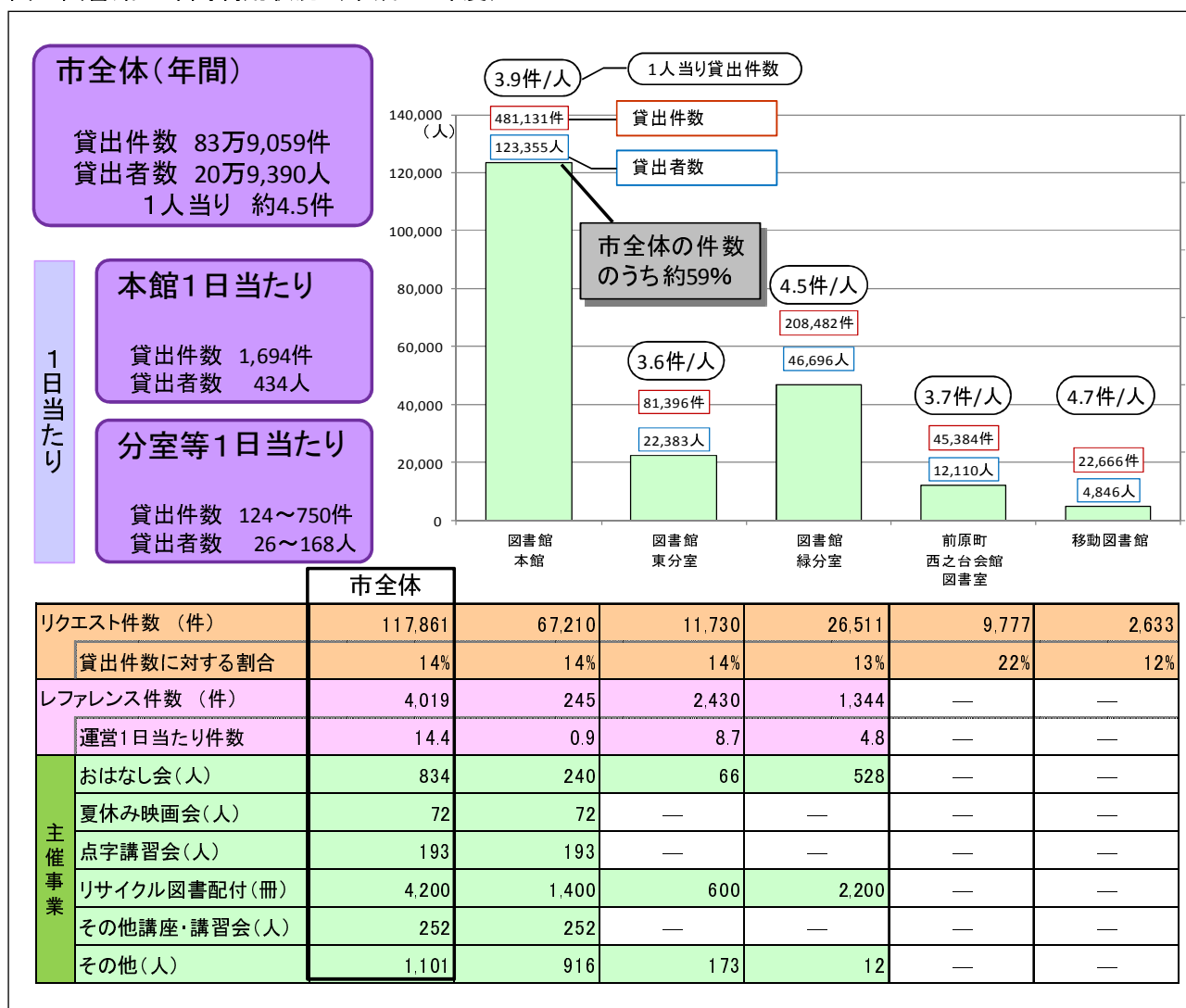
施設別にみると、図書館本館の貸出者数は年間 12 万 3,355 人で、市全体の約 59%を占めています。次いで図書館緑分室が 4 万 6,696 人となっています。図書館東分室は 2 万 2,383 人となっています。

年間のリクエスト件数は市全体で 11 万 7,861 件、貸出件数の約 14%となっています。

レファレンス件数は 4,019 件で、運営 1 日当たり約 14 件となっています。

主催事業はおはなし会や映画会、点字講習会、リサイクル図書配布等を行っています。主として図書館本館で行っていますが、おはなし会、リサイクル図書配布等は分室でも行っています。

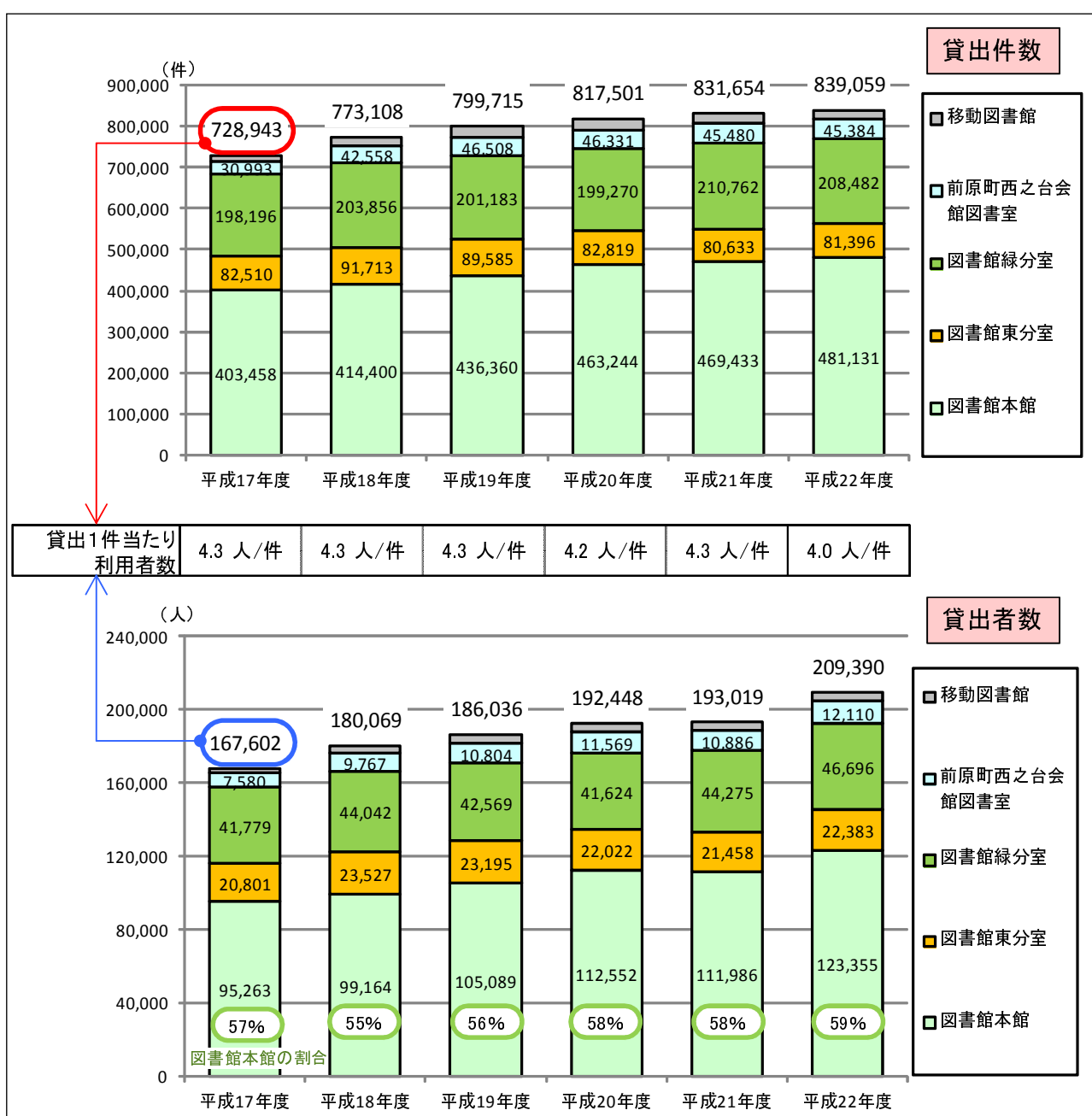
図 図書館の年間利用状況（平成 22 年度）



② 利用状況の推移

貸出件数の推移をみると、平成17年度72万8,943件から増加傾向にあり、平成22年度は83万9,059件と約1.2倍となっています。貸出者数も増加傾向にあり、図書館利用需要が増加していることがわかります。

図 貸出件数、貸出者数の推移



③ 図書館の利用目的（平成 23 年 9 月 20 日から同年 10 月 4 日までの 2 週間）

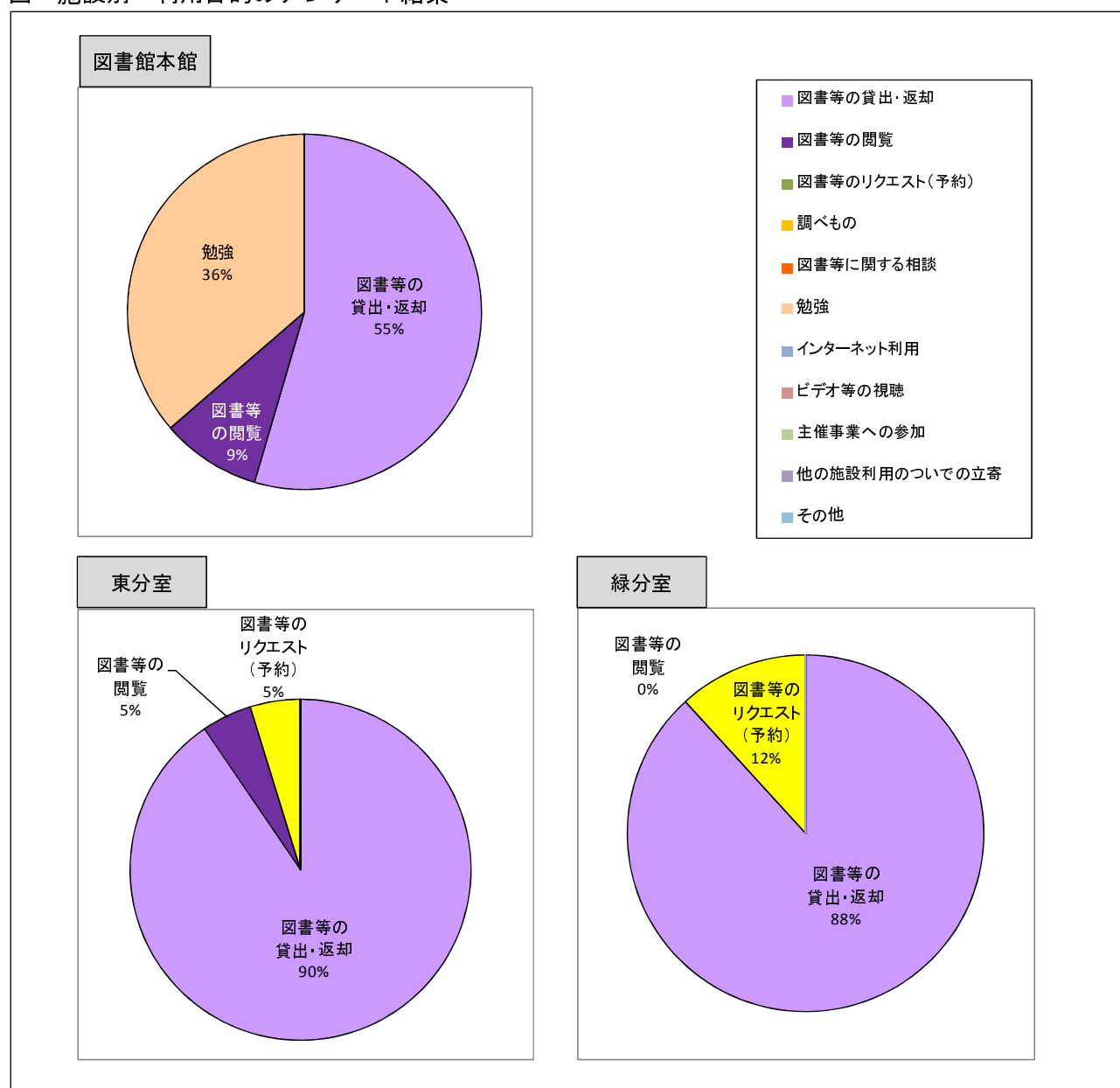
図書館本館、東分室及び緑分室について利用者アンケートを実施し、アンケートの中で各施設の利用目的を把握しました。

図書館本館については、図書等の貸出・返却と答えた方が約 55%を占めています。次いで勉強と答えた方が約 36%を占めています。

東分室及び緑分室は図書等の貸出・返却と答えた方が東分室で約 91%、緑分室で約 88%と、ほとんどの利用者が図書等の貸出・返却に訪れていることが分かります。

図書館でも本館と2分室では訪れる目的が異なってきていることが分かります。

図 施設別 利用目的のアンケート結果



(3) 運営状況

① 運営人員

図書館は市の直営で行っています。

図書館全体で市の一般職員（16人）、嘱託職員（23人）、臨時職員（1人）の計39人が従事しています。（嘱託職員や臨時職員の人員数は一般職員を「1」としたときの業務量で按分しています。）

嘱託職員は交代で勤務を行っており、うち3人は夜間対応職員となっています。

業務別にみると、図書館全体の運営企画や予算・決算業務、施設の維持管理に関する業務を行う「庶務」担当は図書館本館に従事し、計3.5人です。資料の収集、整理、貸出・返却や館内整理、主催事業の企画・開催を行う「奉仕」担当は計35人で、図書館・分室の職員のほとんどは「奉仕」業務の人員となっています。

施設別にみると、図書館本館は庶務担当が3.5人、奉仕担当が24人、計27.5人となっています。東分室と緑分室は奉仕担当の一般職員と嘱託職員が従事しており、東分室は計4人、緑分室は計6人となっています。前原町西之台会館図書室と移動図書館は嘱託職員が0.5人ずつ従事しています。

図 運営人員（平成22年度）

(人)

		図書館 本館	図書館 東分室	図書館 緑分室	前原町 西之台会館 図書室	移動図書館	合計
【庶務】	一般職員	3.0	—	—	—	—	3.0
	臨時職員	0.5	—	—	—	—	0.5
	計	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5
【奉仕】 (館内サービス)	一般職員	8.0	2.0	3.0	—	—	13.0
	嘱託職員	16.0	2.0	3.0	0.5	0.5	22.0
	臨時職員	0.5	—	—	—	—	0.5
	計	24.5	4.0	6.0	0.5	0.5	35.5
合計	一般職員	11.0	2.0	3.0	—	—	16.0
	嘱託職員	16.0	2.0	3.0	0.5	0.5	22.0
	臨時職員	1.0	—	—	—	—	1.0
	合計	28.0	4.0	6.0	0.5	0.5	39.0

② 運営体制

図書館の平日（火曜日から金曜日）と土・日曜日・祝日、昼間と夜間等の運営体制の違いを把握します。

図書館本館の運営体制は、平日火曜日の昼間は一般職員、嘱託職員、臨時職員の計 13 人から 15 人で対応しています。水曜日から金曜日までは、火曜日同様に一般職員や嘱託職員、臨時職員の計 20 人から 22 人で対応しています。夜間は一般職員、嘱託職員の計 3 人で対応しています。土・日曜日・祝日は一般職員、嘱託職員の計 10 人から 13 人で対応しています。

分室等は平日、昼間は一般職員、嘱託職員の計 6 人から 10 人で対応しています。夜間は運営していません。土・日曜日・祝日は一般職員、嘱託職員の計 5 人から 7 人で対応しています。

平日に比べ、土・日曜・祝日の方が職員数が少ないことが分かります。

図 運営体制（平成 22 年度）

		9:00	12:00	17:00	17:15	20:00
図書館 本館	図書館本館 平日（火曜日） 運営体制	8:30	一般職員 6人			
			嘱託職員 10~12人			
			再任用職員 0~1人			
1施設当たり 約13~15人			臨時職員			
		9:00	12:00	17:00	17:15	20:00
図書館 本館	図書館本館 平日（水~金） 運営体制	8:30	一般職員 9人		一般職員1人	
			嘱託職員 10~12人		嘱託職員2人	
			再任用職員 0~1人			
1施設当たり 約20~22人			臨時職員			
		9:00	12:00	17:00	17:15	
図書館 本館	図書館本館 土・日曜日・祝日 の運営体制	8:30	一般職員 3~4人			
			嘱託職員 7~8人			
			再任用職員 0~1人			
1施設当たり 約10~13人						
		9:00	12:00	17:00	17:15	20:00
図書館 分室・ 図書室	図書館分室等 平日（月・水~金） 運営体制	8:30	一般職員 0~5人			
			嘱託職員 1~6人			
	1施設当たり 約6~10人					
		9:00	12:00	17:00	17:15	
図書館 分室・ 図書室	図書館分室等 土・日曜日・祝日 の運営体制	8:30	一般職員 0~3人			
			嘱託職員 1~4人			
	1施設当たり 約5~6人					

(4) コスト状況

図書館4施設の年間トータルコストは、3億588万円です。内訳は、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託料等）6,957万円（約23%）、事業運営にかかるコスト（人件費・物件費等）2億2,454万円（約73%）、減価償却相当額1,177万円（約4%）となっています。

事業運営にかかるコストのうち、図書館事業運営にかかるコストが2億1,944万円、事業の開催等にかかるコストが510万円となっています。事業の開催は業務委託して行っています。

表 施設別公共施設トータルコスト計算書（平成22年度）

【コストの部】		図書館本館	図書館東分室	図書館緑分室	前原町西之台 会館図書室	合計	
施設にかかるコスト	一般職員人件費	24,781	0	0	0	24,781	
	再任用職員人件費	0	0	0	46	46	
	修繕料	156	242	233	31	662	
	改修費	0	63	61	0	124	
	光熱水費	4,543	626	632	0	5,801	
	委託料	6,416	1,300	1,307	106	9,129	
	移動図書館委託料	7,458	0	0	0	7,458	
	使用料及び賃借料	20,661	0	0	2	20,663	
	物件費(嘱託職員費)	0	0	0	28	28	
	その他物件費	783	90	8	1	882	
施設にかかるコスト		64,798	2,321	2,241	214	69,574	
事業運営にかかるコスト	図書館事業運営	一般職員人件費	85,807	20,107	30,161	0	136,075
		再任用職員人件費	0	0	0	0	0
		嘱託職員人件費	29,539	3,741	5,605	0	38,885
		修繕料	120	0	0	0	120
		車両・備品購入費	22,015	5,801	6,930	1,296	36,042
		負担金補助及び交付金	89	0	0	0	89
		物件費(臨時職員費)	577	0	0	0	577
		その他物件費	6,821	355	472	0	7,648
		図書館事業運営	144,968	30,004	43,168	1,296	219,436
	事業主催	一般職員人件費	0	0	0	0	0
		委託料	5,103	0	0	0	5,103
		主催事業	5,103	0	0	0	5,103
		事業運営にかかるコスト	150,071	30,004	43,168	1,296	224,539
現金収支を伴うコスト 計		214,869	32,325	45,409	1,510	294,113	
【収入の部】							
収入	分担金及び負担金(収入)	0	0	0	0	0	
	手数料収入	0	0	0	0	0	
	使用料収入	258	0	0	0	258	
	諸収入	4	0	0	0	4	
収入の合計		262	0	0	0	262	
II.現金収支を伴わないもの							
減価償却相当額		6,806	0	4,965	0	11,771	
III.総括							
コストの部合計(トータルコスト)		221,675	32,325	50,374	1,510	305,884	
収支差額(ネットコスト)		221,413	32,325	50,374	1,510	305,622	

事業運営にかかるコストのうち、一般職員人件費が1億3,607万円と事業運営にかかるコストの約61%を占めています。一般職員人件費以外に嘱託職員人件費3,919万円、図書資料等購入費3,604万円、等がかかっています。

施設にかかるコストには、施設の維持管理に関わる一般職員の人件費2,478万円や土地・建物の使用料及び賃借料2,066万円、建物管理の委託業務（清掃や警備、機械保守等）の委託料及び光熱水費が1,659万円かかっています。

施設別のトータルコストでは、図書館本館が2億2,168万円と全体の約72%を占めています。東分室が3,233万円、緑分室が5,050万円、前原町西之台会館図書室は151万円です。

図 全施設トータルコスト（平成22年度）

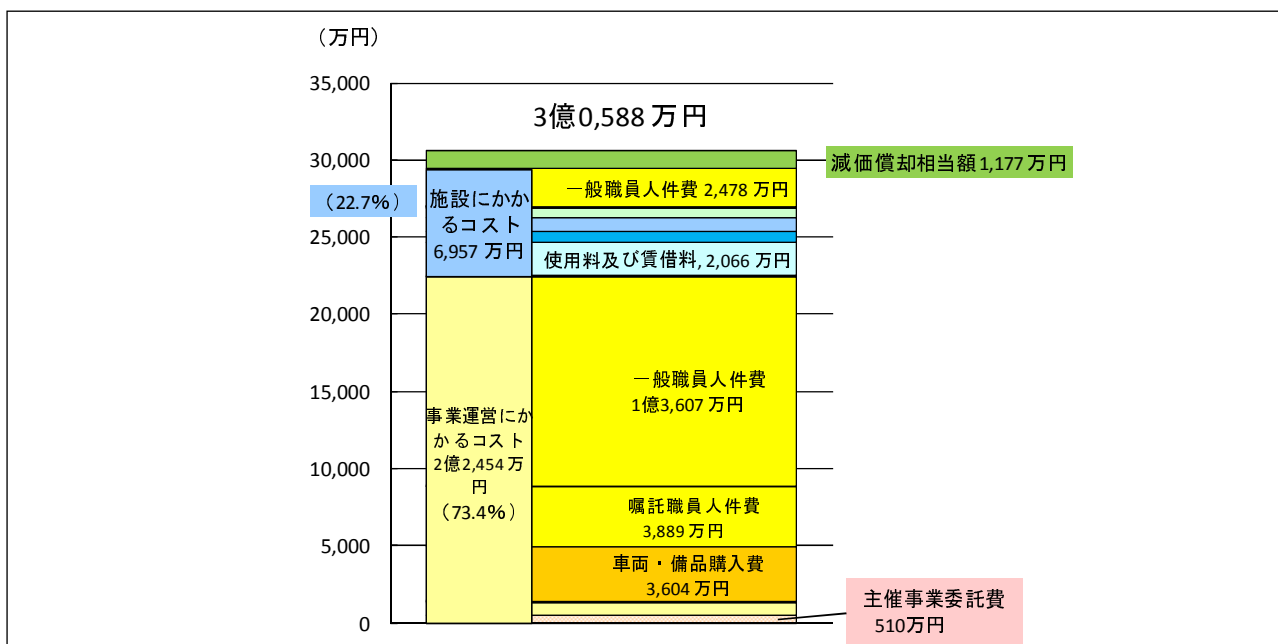
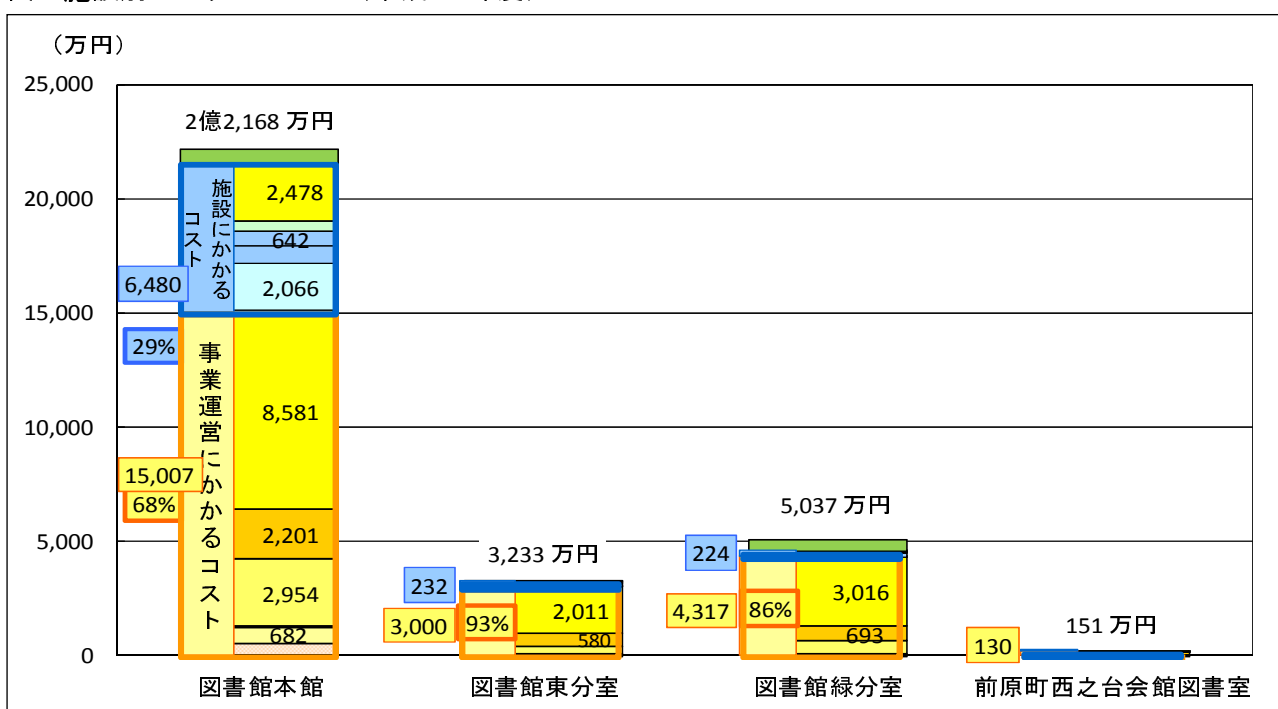


図 施設別トータルコスト（平成22年度）

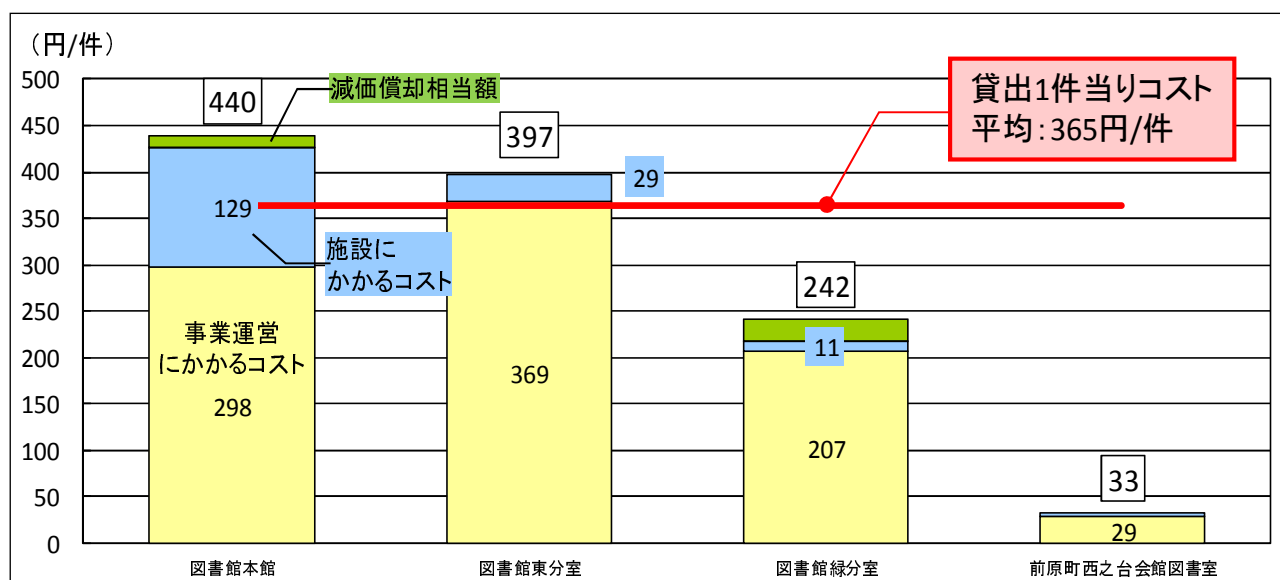


3. 評価・分析

(1) 貸出件数とトータルコストの関係（貸出1件当たりコスト）

年間利用件数とトータルコストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、平均は365円/件です。施設別では、前原町西之台会館図書室の33円/件が最も低く、図書館本館の441円/件が最も高くなります。

図 施設別 貸出1件当たりコスト



■ 今後の課題

建物の耐震安全性・老朽化状況からみた課題

- 図書館本館は耐震診断を実施していません。平成24年度に耐震診断を実施する予定となっており、診断結果に応じた対応が必要です。また、築35年以上を経過しており、老朽化対策を実施することも必要です。

運営面からみた課題

- 市内には、現在、本館及び分室等、計4つの施設があり、施設から遠い場所については、移動図書館により対応しています。今後、空白地域を解消するため、武蔵小金井地域に分室の設置が計画されていますが、地域により設置状況が偏っており、利用状況及び費用対効果等も加味した効率的・効果的な運用を行うことが必要です。
- 市全体の図書館利用者数が増加しており、主に図書館本館への利用者が増加しています。今後は利用者のニーズに合ったサービスを行い、市民サービスの向上を図ることが課題となっています。